放送　地域放送番組編集計画（2008年度）

原文どおり掲載するが，年表示は西暦に統一した。

北　海　道

≪基本方針≫

2008年度，NHK北海道は，放送開始から80年を迎えます。これまで培ってきた視聴者との信頼のきずなを，より確かなものにするとともに，道内７局のネットワークを最大限に活用し，北海道の“今”を伝え，北海道を“元気”にする番組を全道および全国に発信します。また，視聴者とのふれあいを大切にして，いっそう地域に親しまれ，信頼される放送局を目指します。

７月には“地球温暖化対策”を主たるテーマにした「北海道洞爺湖サミット」が開催されます。北海道の豊かな自然や，それを守る取り組みを世界に向けてアピールする絶好の機会になります。

NHK北海道は，進む温暖化に警鐘を鳴らすニュース・番組を制作するほか，北海道のすばらしい自然の魅力を伝える番組を制作し，視聴者の期待に応えます。また，環境保護や防災，交通事故防止に向けたキャンペーン活動に１年をとおして積極的に取り組み，公共放送としての役割を果たします。

北海道はこの一年，夕張をはじめとする自治体財政の危機，後継者不足や原油高など第１次産業を取り巻く厳しい状況や，医療・教育に見られる地域格差などの社会問題が浮き彫りになりました。食に対する信頼が損なわれたほか，交通やライフラインにもほころびが生じていることが明らかになりました。北海道が直面する課題について，NHK北海道は多角的にとらえ，解決への糸口や活性化に向けた道筋を探ります。また，地震・津波などの災害や事件・事故などの緊急報道も，迅速かつ適切に伝えて視聴者の信頼に応えます。

2007年度，北海道内の全局で地上デジタル放送が始まり，視聴者の地上デジタル放送への関心も高まっています。引き続き，地上デジタル放送の普及促進のための周知，デジタル放送ならではのサービスの充実にも努めます。

≪重点事項≫

１．地域放送のいっそうの充実・強化

○金曜夜間の視聴好適時間帯を北海道の視聴者のための時間と位置づけ，家族そろって見ることのできる番組を新設します。ドキュメンタリーやバラエティー，討論番組など“NHK北海道だからできる”多彩な番組群を毎週放送し，地域放送の充実にいっそう努めます。

・ふるさとの良さを再認識し，家族で楽しめ，地域を応援する視聴者参加の公開派遣番組を新設します。ふるさとの魅力をゲストとともに紹介し，道内各地の“元気”を発信します。

・データを切り口に北海道の現実に迫る『データマップ北海道』，たくましく生きる人々を描く『北海道ひと物語』，北海道の課題を視聴者とともに考える討論番組『ホンネで北海道』を継続するほか，人気のスポーツや地域イベント，北海道ならではの文化など多彩なテーマを取り上げます。

・北海道の課題を検証する『北海道クローズアップ』，ふるさとの魅力を再発見する『北海道中ひざくりげ』を継続し，さらに内容の充実をはかります。

○北海道内に７つの放送局があるNHKのネットワーク力を生かした新しいニュース・情報番組を午後６時台に編成します。北海道が抱える課題を機動的かつ継続的に伝えるほか，日々の生活に関わる身近なニュース・話題を多角的に取材し，きょう１日の北海道を“まるごと”伝えます。

○昼前の生活情報番組『ほっからんど北海道』は，ネットワークを生かして地域の暮らしに役立つさまざまな情報や，NHKからの情報をわかりやすく伝えます。地域の人が主人公の「この街この笑顔」は，道央圏を飛び出して道内各地を訪ねます。また，視聴者から寄せられたビデオで道内各地の話題を紹介します。

○北海道の雄大な自然をとおして環境保護を訴えるミニ番組を放送するほか，防災や交通事故防止など，社会に貢献するキャンペーン活動に積極的に取り組みます。

２．北海道ならではの文化や情報の全国発信

○「北海道洞爺湖サミット」開催を機に，温暖化防止や環境保護について考える番組や雄大な自然と命の営みをテーマにした自然番組を制作し，全国に発信します。また，食や観光など全国の人が知りたい情報や，長引く不況や財政危機など北海道が直面する厳しい状況をニュースや番組で全国に伝えます。

○北海道発のラジオ全国定時番組『もぎたて！北海道』を新設します。豊かな自然，新鮮な食べ物や温泉など，北海道のとっておきの最新情報を，毎月全国に発信します。

３．迅速・正確な災害・緊急報道

○北海道は大きな地震や津波，火山の噴火など，自然災害が多い地域です。防災・減災について人々の関心が高まるなか，NHK北海道は，自然災害や事件・事故などの緊急報道について，道内７局のネットワークを活用し，正確できめ細かな情報を迅速・的確に伝え，視聴者の信頼に応えます。

４．地域スポーツ情報の発信

○リーグ連覇を果たした北海道日本ハムファイターズやJ1に再昇格したコンサドーレ札幌の活躍に，道民は“元気”をもらいました。08年度は，ファイターズ戦のナイター中継を増やすほか，コンサドーレ戦の地上デジタル放送では番組連動データ放送を引き続き実施し，視聴者の期待にこたえます。

○高校野球，アイスホッケーなどのアマチュアスポーツを中継するほか，８月に行われる北京五輪に出場する北海道ゆかりの選手の活躍など，地域のスポーツ情報も積極的に発信します。

５．地上デジタル放送ならではのサービスの充実

○昨年度，北海道内のすべての局で地上デジタル放送が始まりました。地上デジタル放送の普及促進のための番組を放送するとともに，地上デジタル放送ならではのサービスを充実します。また，データ放送では，ファイターズとコンサドーレの試合結果や，郷土力士の成績などの情報も引き続き伝えます。そのほか，新たにワンセグのデータ放送でも地域の話題を伝えます。

東　北

≪基本方針≫

東北の各放送局は,08年度もさまざまな挑戦をします。

東北地方は，今，いくつもの大きな課題を抱えています。「農林水産業」「地域経済」「少子高齢化」「格差社会」「教育」「医療」「福祉」。こうした地域が抱える課題と正面から向き合い，正確な情報をお伝えすると同時に，視聴者の皆さんとともに解決の道を考えます。

地域住民の方々の生命・財産を守るため，緊急・災害報道には万全を期します。高い確率で発生が予想される宮城県沖地震をはじめ，日本海での地震，津波，火山活動などを念頭に，「防災・減災」への取り組みを強化します。

また，選挙報道では公正で的確な放送に努めます。

東北地方には，「祭り」「民謡」「民話」「風習」など，多くの豊かで個性的な文化があります。さらに「歴史遺産」や「豊かな自然」といったものの存在も忘れることはできません。こうした東北の大切なものを見つめていきます。地域の誇りを積極的に取り上げ紹介することで，地域の元気につなげていきます。

“地域の応援団”として，地域を積極的に盛り上げていきます。地域を元気にする各地の取り組みを紹介するほか，“勇気”と“力”を与えてくれるスポーツにも注目します。活躍するチーム，期待される地元出身選手などの情報をお伝えしていきます。

東北の各放送局は，幅広い世代のより多くの方々に，いっそう身近に感じていただけるように努めていきます。そして豊かな地域社会作りに貢献することで，さらに信頼される公共放送をめざします。

≪重点事項≫

１．総合テレビ・金曜夜間の充実

“地域放送ゾーン”として位置づけている金曜夜間では県域向け番組，東北ブロック向け番組，全国のネットワークを生かした番組など，多彩な番組を編成します。

・『ワンダフル東北』のさらなる充実を図ります。東北の豊かな自然や文化，そこに暮らす人々の姿を，ドキュメンタリーやインタビュー，ドラマなどさまざまな手法で深く，魅力的に伝えます。また，『NHK東北民謡コンクール』など地域色豊かなエンターテインメント番組も引き続き放送します。

・夜７時台の『クローズアップ東北』は“東北の今”に迫ります。地域が抱える課題や関心事，時代を先取りする人々の動きをタイムリーに取り上げます。

・東北各局が総力をあげて東北の課題に正面から取り組む番組やNHKの全国ネットワークを生かして問題解決の道筋を探る『地域発！どうする日本』では視聴者の皆さんと地域の将来を考えます。

２．迅速かつ的確な緊急報道・災害報道

08年は，日本海中部地震から25年，宮城県沖地震から30年にあたります。東北地方に被害をもたらした過去の災害を教訓とし，年間を通じて防災関連の企画や番組を放送し，防災・減災意識の向上につながるように努めます。

地震，津波，大雪，火山活動などさまざまな自然災害に備え，取材拠点からの伝送網をはじめ，緊急報道体制の強化と機材・設備の整備に継続して取り組みます。

自然災害や事件・事故の発生時には，迅速かつ的確な報道に全力で取り組みます。地上デジタル放送のデータ放送やワンセグ，ホームページなどでも情報を伝え，暮らしの安全を守ります。

３．東北の魅力を発掘

11年目を迎える『ふだん着の温泉』は，全国各地の温泉とそこに集う人々の暮らしを地域色豊かに描きます。

ラジオ第１放送の新番組『ぬくだまりの宿　みちのく亭』では多彩なゲストとともに，祭りや文化など東北の魅力を全国に発信します。

09年放送の大河ドラマ『天地人』は山形県や福島県ゆかりの戦国武将，直江兼続が主人公です。ドラマのスタートにあわせて，直江兼続にスポットを当てた番組を放送します。

「平泉の文化遺産」の世界遺産登録に向けた動きにあわせて，平泉関連の番組やイベントを展開し，地域の魅力を広く伝えます。

４．地域スポーツを積極的に応援

プロ野球やJリーグなど，各地で関心の高いスポーツを積極的に取り上げるほか，高校野球や駅伝などのアマチュアスポーツもきめ細かく伝えます。

オリンピック北京大会，北京2008パラリンピック大会にあたっては，活躍が期待される東北出身選手の情報を詳しく伝えます。

５．地上デジタル放送ならではのサービスを強化

2011年７月24日のアナログ放送終了を前に，地上デジタル放送の普及に努めます。暮らしに役立つデータ放送や字幕放送，マルチ編成や双方向機能を活用した放送サービス，ワンセグなどデジタル放送ならではのサービスを充実します。

また，視聴可能エリアの拡大にあわせて，地上デジタル放送の普及に資するイベントを東北各地で積極的に実施します。

関東甲信越

≪基本方針≫

日本の人口の３分の１にあたる関東甲信越地方の4600万人の視聴者に向けて，首都圏放送センターと９つの放

送局は人々のきずなや地域の連帯感を強め，暮らしを守る“地域の応援団”として，“NHKだからできる”放送を通して公共的役割を追求します。

少子高齢化，“いじめ”，自殺，雇用や年金，そして格差の問題など，生活に関わる関東甲信越地域のさまざまな課題に取り組み，人々が生き生きと暮らせるような社会の実現に向けた情報発信に総力をあげます。特に金曜夜の地域特集番組では，関東甲信越以外の地域の放送局とも協力して解決策を探るなど，地域の課題をより広い視野で考えます。あわせて，豊かな自然や文化，人々の暮らしなど各地の魅力も紹介し，こうした関東甲信越各地の課題や魅力を全国に向けても積極的に発信します。

地震や台風・豪雨など，生活を直撃するさまざまな災害の発生に際しては，情報を迅速・的確に報道するとともに，災害に備えるための事前の対策などもわかりやすく伝えます。さらに，大きな被害が予想されている首都直下型地震への備えについても詳しく伝えます。

また，ワンセグデータ放送で新たに地域向けサービスをスタートさせます。さらにインターネットを放送と連動させた新たなサービスを一部の局で開始するなど，多様なメディアを活用して放送サービスのいっそうの向上・充実に努めます。

≪重点事項≫

１．地域の課題や関心の高いニュースについて多角的に伝えます

少子高齢化や介護，年金の問題，子どもの“いじめ”や教育問題，広がる格差など，今，地域社会はさまざまな課題に直面しています。また，食品偽装や薬害など，社会規範の乱れがクローズアップされました。これらの課題を積極的に取り上げ，解決策を探ります。

地球規模で深刻化する温暖化や大気汚染などの環境問題については，地域の現状を伝えるとともに，身近な取り組みを紹介し，環境保護への意識を高める放送にも取り組みます。

こうした地域の関心が高い課題やニュースについて，情報を迅速・的確に伝えるとともに，夕方６時台のニュース番組では記者解説などをまじえてわかりやすく伝えます。さらに，金曜夜７時30分からの地域放送番組や８時台の『新トーキョー人の選択』などでも，その背景を掘り下げるなど多角的に伝えていきます。

また，地域放送で取り上げたテーマや素材は，全国のニュースや『クローズアップ現代』，『NHKスペシャル』，地域局を結んで共通する課題に取り組む『地域発！どうする日本』などに積極的に展開し，広く全国に伝えていきます。

２．災害報道に取り組み，防災に役立つ情報で地域の暮らしを守ります

防災・減災につながり，暮らしの安全の頼りとなる情報をきめ細かく伝えます。さらに新潟県中越地震や新潟県中越沖地震の被災者のその後の生活や復旧の課題などについても，引き続き被災者によりそった視点で放送し，関東甲信越地方に暮らす人々の安全と安心の確保に役立つ情報を伝えます。

また，災害時には被災者に向けた生活情報などきめ細かい情報をデータ放送でも提供します。

３．選挙報道に万全を期し，地域の政治課題をわかりやすく伝えます

選挙に際しては，公正な視点で争点や有権者の動向を詳しく放送します。正確で迅速な選挙放送はもちろんのこと，地域の政治課題についても掘り下げて伝えます。

さらにテレビの開票速報に合わせて，地上デジタル放送のデータ放送やインターネットでも開票情報を提供し，地域の選挙結果についていち早く伝えます。

４．地域ならではの風土や暮らしを見つめ，伝統・文化を紹介します

風土に根ざした暮らしや，地域に息づくさまざまな伝統行事・文化遺産を記録・紹介していきます。『小さな旅』は放送開始25年を迎えます。これからも各地の風土や人々の暮らしを詩情豊かに描くとともに，これまで番組が伝えてきた各地の美しい映像などを活用した特集番組を放送します。

また，全国のネットワークを生かして全国各地から“ふるさとの今”の姿を伝える中継や各地を訪ねる旅企画などを『ゆうどきネットワーク』で伝えるとともに，甲信越各局や水戸局の地域放送番組でも地域の暮らしや人々の表情，伝統行事，文化遺産について伝えます。

５．地域のスポーツ情報を発信し，視聴者の関心にこたえます

去年，サッカーJ1で鹿島アントラーズが優勝，浦和レッズがアジアチャンピオンズリーグでアジア王者になるなど首都圏に拠点をおくプロスポーツチームが活躍しています。また，夏のオリンピック北京大会に向けて首都圏出身の選手たちの活躍も期待されています。

こうしたスポーツの話題については，試合の中継をはじめ，データ放送やインターネットで試合経過などの情報提供を行うとともに，チーム・選手の動向やサポーターたちの活動をニュースや番組で伝えるなど，きめ細かいサービスで視聴者の関心にこたえます。

６．幅広い視聴者層に向けて多様なメディアでサービスを展開します

2011年の完全移行に向けて放送エリアを拡大している地上デジタル放送については，データ放送などサービスの一層の充実をはかるとともに，地域放送番組などを通じてその魅力を伝え，普及を図ります。

地上デジタル放送を実施している各局で，新たにワンセグデータ放送の地域向けのサービスを開始するほか，横浜・さいたまの両局でインターネットとニュースや番組を連動させる新たなサービスをスタートするなど，携帯端末やインターネットに親しむ世代に向けたサービスも充実させます。

７．さまざまなイベントや番組を通して視聴者との結びつきを深めます

東京の下町を舞台にした年度前半の『連続テレビ小説～瞳』や，衛星放送で10月に予定している『おーい，

ニッポン　私の・好きな・栃木県』などの番組をきっかけに，イベントの開催や公開番組を通じて視聴者との結びつきを深め，地域の人々に信頼され親しまれる放送局をめざします。

また，地域の課題について，公開討論やインターネット，ファックスなどで寄せられた視聴者の意見を取り込んだ番組を制作するなど，番組への視聴者参加にも積極的に取り組みます。

中　部

≪基本方針≫

NHKは08年度，地域放送の充実と全国発信の強化をさらに進め，地域再生の力となることを国内放送番組の編集の大きな柱にすえます。中部地方の各放送局も，地域の生活者の視点に立って，NHKだからできる質の高い地域放送を通して，地域社会と地域文化の発展に貢献します。

いま，全国で，医師不足や自治体財政の悪化など暮らしを脅かす問題が深刻の度を増しています。中部地方では，増え続ける外国人との共生や地震災害からの復興など固有の課題にも直面しています。環境という地球規模の課題でも地域での地道な取り組みが求められています。まず，こうした課題に地域の放送局として正面から向き合い，視聴者と問題意識を共有し解決の道をともに考えるキャンペーンに力を注ぎます。

昨年，相次いだ大きな地震災害は，改めて私たちが地震列島に生きていることを教えました。地域の大きな課題である東海・東南海地震への備えに万全を期すとともに，台風や大雨などの自然災害時に迅速・的確な情報を提供し，地域住民の生命・財産を守るために全力を尽くします。

中部地方には，豊かな自然と地域が育んできた独自の文化がいきづいています。そして地域にしっかり根をはって生きるすばらしい人たちがいます。その魅力を掘り起こし，中部７局が結集して制作する地域放送番組『金とく』などで伝えるとともに，その価値を全国に向けて積極的に発信していくことも私たちの大切な役割と考えます。

いま，NHKにとって大きな課題は，幅の広い年齢層，特に若い世代に，より多く見られるよう番組を強化することです。地域放送においても，それぞれの世代の関心を的確にとらえた番組を放送するとともに，イベントやインターネット，ワンセグなどの多様な回路を生かした新しいサービスを開発して，あらゆる世代の視聴者と接する機会を増やします。

08年度，中部地方の各放送局は，これらの取り組みを通じて，視聴者にとって身近で役に立つ放送局をめざします。

≪重点事項≫

１．地域の課題に継続して向き合い，独自のキャンペーンを展開します

○中部地方も，地域間格差の拡大や少子化といった社会構造の大きな変化の中で地域経済の振興や子育て支援などの課題に直面しています。また，老朽化が進む原子力発電所の安全対策，増え続ける日系ブラジル人との共生，高速交通体系の整備など，固有の課題も山積しています。平日午後６時台の地域情報番組，朝のニュース番組，金曜夜の『ナビゲーション』では，地域に暮らす人たちの目線に立って問題をきめ細かく発掘し，解決に向けた道筋を考えていきます。

○各放送局ではそれぞれ独自にテーマを設けて地域の課題の解決を呼びかけるキャンペーンに取り組みます。３年連続で交通事故死者数ワースト１となった愛知県をはじめ東海３県では「交通事故“０”（ゼロ）」キャンペーン，自殺率が高い富山県では人と人のつながりの大切さを訴える「ひとりじゃない」キャンペーンなど，年間を通して展開します。

○NHKが全国54局をあげて展開する環境キャンペーン「地球エコ2008」と連動し，地球環境を守るためにひとり一人に何ができるのか，地域の人たちとともに考え，身近な暮らしの中に解決策を探ります。

２．『金とく』を核に，中部地方のとっておきの魅力をよりタイムリーに伝えます。あわせて，全国に向けた発信を強化します

○スタートから３年目を迎える『金とく』は，地域密着を合言葉に，ドキュメンタリーからドラマまで多彩な手法で，中部地方の魅力あふれる旬の話題をたっぷり伝えます。これまで以上に，視聴者の「見たい，知りたい」という，その時の関心にタイムリーにこたえていきます。

○四季にうつろう自然の美しさや後世に伝えたい豊かな文化，この土地に今も残る人と人とのかけがえのない絆（きずな）など，中部地方の魅力を掘り起こし，『NHKスペシャル』や『ハイビジョンふるさと発』などを通して全国に向けて発信します。

３．多様な回路を活用してあらゆる世代と交流を図り，視聴者との結び付きを強めます

○午後６時台の地域情報番組を各地に出向いて公開放送するキャラバン中継やFM放送のディスク・ジョッキー番組の公開放送を拡充するなど，放送局ごとに視聴者と“じかに”交流する取り組みを強化します。

○若い世代のNHKに対する親近感を醸成することが地域放送局の新たな課題です。若者に人気のアーティストによる公開ライブ番組を総合テレビに新設するほか，地域で開催されるライブを素材にした特集番組などを随時編成します。名古屋局制作の全国放送番組『めざせ！会社の星』の新設にあわせて，ホームページや携帯サイトを開設して，若いビジネスマンの声を集め番組に反映させます。また，音楽コンクールやロボットコンテストなどあらゆる機会をとらえて積極的に若い世代との交流を図り，NHKへの理解を深めてもらいます。

○ワンセグでは，各県向けのデータ放送を新たに開始します。地域のニュースや気象情報などに，“いつでも，どこでも”アクセスできるようにします。

４．地域を災害から守るための情報をきめ細かく伝えます

○東海地方では，「東海地震」「東南海地震」という大

規模災害への備えが大きな課題です。昨年，北陸地方では「能登半島地震」によって石川県に大きな被害を受けましたが，今年は福井地震から60年の節目の年になります。改めて，防災・減災に関する特集番組を編成し，地域の防災意識の向上に役立つ情報提供に努めます。また，復興・再生に向けて取り組む能登地方の人たちに何が必要なのかを継続して伝え，放送を通して応援していきます。

○地震，津波，台風，集中豪雨，大雪など，生命・財産にかかわる災害にあたっては，迅速で的確な報道に全力を尽くします。また，データ放送やホームページを活用して，きめ細かい情報の提供に努めます。名古屋局では，昨年の岐阜局に続いて，県のシステムと連動して河川災害の情報をリアルタイムで伝えるデータ放送サービスを開始します。

５．公正・的確な選挙報道を行います

○富山県知事選挙（08年11月８日任期満了），岐阜県知事選挙（09年２月５日任期満了）にあたっては，有権者の判断のよりどころとなる公正・的確な情報を提供します。

６．地域の関心が集まるスポーツ放送に積極的に取り組むとともに，ふるさと出身の選手を視聴者とともに応援します

○今年８月，オリンピック北京大会が開催されます。前回大会に続いて金メダルが期待される選手の多くは，中部地方の出身です。大会前からふるさと出身の選手の動向を紹介するとともに，大会での活躍をあますところなく伝え，地域の視聴者の期待にこたえます。

○53年ぶりに日本一になった中日ドラゴンズや，２年目を迎えるBCリーグなどの野球に加え，サッカーやバスケットボールなどの競技でも，地元チームが活躍しています。地域の視聴者の関心が高いスポーツの中継放送に積極的に取り組むとともに，情報番組でその活躍を伝えます。

近　畿

≪基本方針≫

08年度は，既存のニュース・番組のいっそうの内容刷新と若年層向け番組の開発に重点を置き，地域放送の充実と視聴者層の拡大に努めていきます。

昨年，関西では子どもが被害者となる痛ましい事件や暮らしを脅かす凶悪犯罪が相次ぎました。誰もが安心して暮らせる社会を作ることは，地域が直面している大きな課題です。各放送局は公共放送として地域の安全，教育，福祉，経済，環境などの課題に正面から取り組み，解決の手助けとなるような番組やキャンペーン活動を展開していきます。

事件・事故について必要とされる情報を迅速かつ的確に報道することはもちろん，その背景を多角的な視点から深く取材することで見ごたえのあるニュース・番組を放送します。また，近い将来起こると予想されている東南海・南海地震についても，取材や速報の体制を強化し，防災・減災に役立つ情報を提供していきます。

独特の豊かな文化を育んだ関西のすばらしさを伝える，歴史・芸能・ドラマなどさまざまな分野の番組を制作し，全国に向けて発信していきます。また，地域に向けても関西の魅力を再発見できるような番組を制作します。

金曜夜８時台には毎週多彩な番組を放送します。関西ゆかりのスポーツを積極的に取り上げるほか，活力あふれる人や企業を紹介することで地域の活性化に貢献します。

今年は「源氏物語」が日本の記録に登場して1000年にあたり，また，平城遷都1300年も間近です。番組やイベントを通して歴史や古典の魅力を見つめ直し，その意義を次の世代に伝えていきます。

各放送局で地上デジタル放送を開始して４年が経ちました。データ放送，“ワンセグ”，デジタルラジオなどデジタルならではの特性を生かしたサービスの充実に努めます。

関西のNHK６局は視聴者第一の視点に立ち，地域貢献につながる試みを推し進めます。それぞれの地域の課題に独自で取り組む一方，６局全局で共有し取り組むことのできる意欲的な新番組や企画などを通して，いっそうの放送サービス向上に努め，地域の人々から親しみと信頼を得る公共放送をめざします。

≪重点事項≫

１．地域放送の刷新とさらなる充実

○次代を担う若者や子どもたちを励まし，育む取り組みを強化します。友達や学校・家族のことなど，10代が抱える悩みや日ごろ感じている思いを受け止め，本気でコミュニケーションすることをめざして，平日午後５時台の地域放送番組を刷新します。

○ニュース・情報番組のさらなる充実を図り，より地域に密着した情報を提供していきます。各府県の視聴者の関心に沿ったニュースや話題を午後６時台の番組でわかりやすく，きめ細かに伝えます。

○今年４月にハイビジョン化する大阪局の公開スタジオ「BKプラザ」を活用する情報番組を拡充します。各府県の話題や暮らしに役立つ情報は，平日午前11時台の『ぐるっと関西　おひるまえ』で伝えます。また，土曜午前の『ぐるっと関西プラス』は放送時間を拡大し，より幅広い文化情報を盛り込み，週末の午前にさわやかなひとときを届けます。

○金曜夜間をより見ごたえのある時間として強化します。関西で起きた出来事や事件を機動的に，かつ深く取材し，わかりやすい解説により視聴者の問題意識にこたえる午後７時台の報道番組を刷新します。また，家族で楽しめる娯楽番組や関西が誇る上方芸能を主題とした番組，関西らしい地域性あふれるドラマのほか，関西固有の課題を深く掘り下げる番組や，各地の文化や自然の魅力を広く伝える番組などを午後８時台の『かんさい特集』で多彩に編成し，地域放送の存在感をさらに高めていきます。

○地域社会の一員として関西経済の活性化を応援します。独創的な発想で機会をとらえ成功を収めている関西の企業を紹介し，その着眼と発想から学ぶ日曜朝８時の

『ビジネス新伝説　ルソンの壺』は２年目に入り，幅広い視聴者層から支持される番組としていっそうの定着を図ります。
○今年から，京都議定書に定められたCO_2削減の目標達成期間に入ります。温暖化や地球環境の問題を暮らしの中でどのように解決できるのか，身近な視点から各地の取り組みをニュースや番組で伝え，視聴者とともに考えます。また，NHK自身も各放送局でCO_2排出量削減に取り組みます。

２．全国発信の充実と強化

○秋から始まる大阪局制作の『連続テレビ小説～だんだん』は，京都と島根を舞台に，離れ離れになっていた双子の姉妹が再会し歌手としてスターになるというストーリーで，エネルギッシュに生きる２人の歌と恋と笑いと涙，そして愛と絆を描きます。「ふたりっ子」で人気を博した三倉茉奈さんと佳奈さんを再びヒロインに迎え，日本の朝を元気にするドラマを制作します。
○９年目を迎える『その時　歴史が動いた』は，著名な人物を新たな角度から，あるいは隠れた偉人の業績に光を当て，徹底した取材により歴史を動かした人間のドラマを描き出し，根強い歴史ファンの期待にこたえます。また，現代史の転換点となった昭和の事件や人物に注目し，最新の研究成果を取り入れてその実相に迫ります。さらに，歴史のおもしろさを新たな切り口で伝える番組の開発にも積極的に取り組んでいきます。
○恒例となった『わが心の大阪メロディー』をはじめ，若年層の支持を集める音楽と笑いを融合させた『大阪発疾走ステージ　WEST　WIND』など，関西らしいバラエティー色豊かな大型番組を全国に向けて発信し，関西の元気をアピールします。
○上方の味わいあふれる新作漫才と落語を演じるラジオ第１の公開派遣番組『上方演芸会』が放送開始から60年目を迎えます。ラジオ番組ならではの小回りのよさを生かして，中・小型のホールでの収録や若手出演者の起用など，豊かな“笑い”を各地に届ける挑戦を続けます。また，能や狂言，文楽や歌舞伎など関西に根ざした質の高い伝統芸能を全国に紹介し，伝統文化の継承に貢献していきます。
○10年にわたり障害者や難病患者の活動や生き方を紹介してきた『きらっといきる』は，字幕放送に加えて，今年度から解説放送を全面的に導入し，すべての人に開かれた，“さらにやさしい放送”をめざします。また『ストレッチマン２』，『みてハッスル☆きいてハッスル』といった障害児教育，特別支援教育向けの番組では，ホームページも充実させていきます。福祉や人権を大切にする番組を制作してきた蓄積を生かしながら，補完放送やインターネットの活用により，バリアフリー社会の実現に寄与します。
○今年は「源氏物語」が記録の上で明確に現れてから1000年にあたります。「源氏物語」をテーマとするテレビ・ラジオ番組の制作や関連イベントを積極的に実施し，いにしえの，みやびやかな世界に光を当てるとともに，その今日的な意義を再発見し伝えます。

３．暮らしを守る緊急報道と災害への備え

○近い将来に発生が予測されている東南海・南海地震に備え，継続的に防災・減災についてのニュース企画や番組を制作し，地域の人々の防災意識の向上に努めます。
○地震，台風などの自然災害や事件・事故発生時には，迅速で正確な災害報道・緊急報道に万全を期します。データ放送やインターネットなども活用しながら，安否情報・生活情報といった視聴者が必要とする情報をきめ細かく伝え，公共放送の使命を果たします。

４．視聴者との結びつきの強化

○視聴者から寄せられるさまざまな声を受けとめ，視聴者の満足を第一に考えて番組の制作・編成に取り組みます。また，番組に合わせたイベントや，公開番組などにより，視聴者とのふれあい・結びつきを強化します。地域の視聴者から信頼と親しみを寄せられる公共放送をめざします。

５．地域スポーツの振興

○プロ野球の地元球団の試合や情報を全国放送とともに地域放送でも積極的に取り上げます。Ｊリーグでは J1に２年ぶりにそろった関西勢３チームの魅力や情報を幅広く伝えていきます。また，これからの発展が期待される新しい競技の中継にも取り組んでいきます。
○第90回の記念大会となる全国高校野球や大学ラグビーなど，関西で開かれるアマチュアスポーツの大会を積極的に取り上げ地域放送・全国放送で広く伝えることで，アマチュアスポーツの振興に寄与します。
○８月に行われるオリンピック北京大会，９月に行われる北京2008パラリンピック大会では関西からも多くの選手の出場が予想されます。代表候補を紹介する番組やニュース企画の放送を通じて，活躍の期待される関西ゆかりの選手を応援します。

６．地上デジタル放送の普及・促進

○地上デジタル放送の先進地域として，データ放送では各地のニュース，気象情報，防災や安全に役立つ情報のほか，新たに各府県の身近な地域情報をわかりやすい操作で閲覧できる機能を提供します。また，視聴者の選択肢を広げるマルチ編成を効果的に実施し，多様化する視聴者のニーズにこたえていきます。
○地上デジタル放送の携帯端末向け“ワンセグ”サービスで各府県ごとのデータ放送が始まります。どこでも見られる，という携帯端末ならではの特性を生かすコンテンツの開発に取り組みます。

７．信頼にこたえる選挙報道

○各地で行われる首長選挙などの選挙報道については，有権者の判断のよりどころとなる的確な情報提供に努めます。また経歴・政見放送や開票速報などには万全を期し，公共放送として公平で信頼される報道を行います。

中　国

≪基本方針≫

中国地方のNHKは，08年度も“地域再生”のテーマに正面から向き合い，地域社会に貢献します。

中国５県の各放送局は，「ちゅうごく人口減少社会」「ちゅうごく再生プロジェクト」と２年間にわたり，地域が抱える課題に継続的に取り組んできました。公共サービスや経済の格差，医師不足など，暮らしに直結するテーマを掘り下げ，視聴者とともに解決策を模索してきました。

少子高齢化や人口流出が急速に進む中で，中国地方にはなお課題が山積し，さらに，地球環境問題への対応や，不透明感を増す景気の行方など新たな課題も浮かび上がってきています。

08年度も，これまでの蓄積を生かしながら，地域社会の“再生”により重点を置いて，中国地方の課題を行政・企業・住民とともに考える番組を総合テレビの金曜夜間に展開します。

ふるさとの暮らしを守り，活気と魅力を取り戻すために何ができるのか，NHKは放送を通して，新しい地域再生の試みに参加していきます。

公共放送の使命である災害・緊急報道にあたっては，高齢化や，いわゆる限界集落の増加が進む中国地方の状況を踏まえ，災害弱者に十分配慮しながら，防災・減災に役立つ情報やライフラインの情報などを迅速・的確に伝え，地域の人々の命と暮らしを守ります。

中国地方でも今年，ワンセグデータ放送で地域のニュースの提供を開始します。インターネット・携帯端末向けサイトとの連携・融合を推し進め，生活に密着した情報を多様な手段で提供します。また，携帯端末向けサービスの充実を通じて，若い世代がNHKに接する機会を増やします。

中国地方の各放送局は，こうした取り組みを通じて，よりいっそう信頼され親しまれる公共放送を追求し，“NHKだからできる地域放送”をさらに充実・進化させます。

≪重点事項≫

１．“地域の再生”の確かな指針を示します

中国地方が抱える“暮らし”に直結する課題の解決策を探る「ちゅうごく再生プロジェクト」を継続して展開します。「地域をどう再生すればいいのか」，「地域活性化の鍵は何か」視聴者のみなさんとともに考え，具体的な提言を示すことで，地域社会に貢献します。

２．“金曜夜間・地域放送番組”をよりいっそう定着させます

金曜夜間を“地域をみつめる時間帯”とし，いっそう定着させます。地域の課題を掘り下げた番組や地域に根ざして活躍する人物を追ったドキュメンタリーなど多彩な内容で伝える『ふるさと発』『ふるさと発スペシャル』に年間を通して取り組みます。また，家族そろって楽しめる紀行番組も引き続き編成します。

３．災害・緊急報道，防災に全力で取り組みます

公共放送の使命である災害・緊急報道にあたっては，災害弱者に配慮し，暮らしの安全を守る情報提供に努めます。また，昨年度から始まった緊急地震速報や，データ放送・インターネットを効果的に利用し，防災・減災に役立てます。

４．地域の情報を全国に発信します

『地域発！どうする日本』や『地域発！ぐるっと日本』などの番組を通して，中国地方が抱える課題や問題，自然や文化，地域に暮らす人々の話題を全国発信します。また，“環境キャンペーン「地球エコ2008」”に参加し，中国地方の地球環境問題への取り組みや課題を伝えます。

５．デジタル時代の放送サービスをさらに推進します

ワンセグデータ放送に，新たに地域向けニュースや週間天気予報を加えて，より暮らしに役立つ身近な情報を，いつでも手に入れられる環境を整えます。さらに，インターネットや携帯端末向けサイトと放送との連携を強化し，若年層がNHKに接する機会を増やします。

６．スポーツを通して地域を盛り上げます

８月に北京で開催される夏のオリンピックに挑む中国地方の選手を応援します。また，サッカーや高校野球，全国都道府県対抗男子駅伝などの中継を通して，スポーツファンの期待に応えます。

四　国

≪基本方針≫

原油価格の高騰や株価の下落など先行きの見えない経済，“政権選択の選挙”を控えた政局―。日本は今，さまざまな課題に直面しています。四国のNHKは，政治や経済の動きが地域社会に与える影響をしっかりと見据え，タイムリーで情報性の高い放送を行うことで地域の視聴者の関心にこたえます。少子高齢化や自治体の財政難，医療，福祉，農林水産業など地方が抱える構造的な課題についても，継続的に放送で取り上げ解決策を探っていきます。

選挙放送は視聴者が公共放送に寄せる信頼の根幹です。政権選択が焦点となる次の衆議院議員総選挙に備え，万全の体制を整えます。災害・緊急報道では正確な情報を迅速・的確に伝え，安心・安全の確保に努めるとともに，地域の防災意識の向上に資する放送を行います。

今年は７月に洞爺湖サミットを控え，地球環境問題に対する関心が世界的に高まりを見せています。四国でも，豪雨や渇水被害の拡大，農業・漁業への温暖化の影響が懸念されています。地域の視点から四国の環境問題を検証・考察し，視聴者の理解を深めます。

オリンピック北京大会や北京2008パラリンピック大会では地域放送を通じて四国出身の選手を応援するとともに，地域の視聴者の関心が高いスポーツ情報を積極的に伝えます。また，四国八十八か所の遍路道をはじめ，四国ならではの美しい自然や各地が誇る歴史，文化につい

て，デジタル放送の特性を活かした番組を制作し全国に発信します。

≪重点事項≫

1．地域の“いま”を伝え，ともに考える番組

四国各県は地域固有の数々の課題を抱えています。加えて，経済状況の急激な変化は地場産業を直撃するなど地域経済に大きな影響を与え，人々の暮らしを脅かしています。こうした重要なテーマをさまざまな番組で取り上げ，解決策を探ります。

金曜午後7時30分からは，四国のさまざまな課題を深く掘り下げて検証する『四国羅針盤』（高知局は日曜午前8時）を放送します。

午後8時台は四国各地の多様なテーマを取り上げる『四国スペシャル』をはじめ，各県向けの番組もさらなる充実を図ります。また，NHKのネットワークを生かし，『地域発！どうする日本』や『難問解決！ご近所の底力』などで日本の各地が抱える共通の課題を検証します。

平日午後6時台は各県のその日のニュースをいち早くわかりやすく伝え，情報番組として内容の充実・強化に努めます。

朝の『おはよう日本』内の地域番組をはじめ，昼前の地域生活情報番組では，暮らしに役立つ情報や地域の身近な話題をお伝えします。

2．視聴者の信頼にこたえる選挙放送

政権選択が最大の争点となる衆議院議員総選挙に対しては万全の準備を整えます。また，自治体の首長選挙など日々の暮らしや地域のあり方に深くかかわる各種選挙についても，有権者の判断に役立つ公正中立な情報を伝え，迅速で正確な選挙放送を行い視聴者の信頼に応えます。

3．地域の生命・財産を守る緊急報道

大型化する台風や今世紀前半にも発生が予想される南海地震については，国や自治体の対策，地域住民の取り組みなどをきめ細かに伝えるとともに，防災・減災に対する意識の啓発に努めます。また，災害発生時には，テレビ・ラジオできめ細かな情報を提供するほか，データ放送やインターネット，携帯端末でも視聴者に関連情報を機動的に伝えます。

4．地域とともに考える地球環境

7月には“環境サミット”とも称される北海道洞爺湖サミットが開催されます。地球温暖化は気候変動を拡大し，四国の主要産業である農業や水産業などにも影響を及ぼしています。地域の環境問題をさまざまな角度から検証するとともに，誰もができる環境に優しい生活術を紹介し，地球環境問題に対する関心を高めます。

5．スポーツを応援する地域放送

8月に開催されるオリンピック北京大会を前に，日本代表となった四国出身選手を地域放送で紹介するほか，開催期間中はその活躍ぶりを詳細に伝えます。また，サッカーJリーグや高校野球，参加チームが拡大した「四国九州アイランドリーグ」など，地域スポーツも積極的に取り上げ視聴者の期待にこたえます。

6．四国の自然や文化を発信する番組

“地域の応援団”として，四国各県の個性と魅力をいっそう際立たせる多彩な番組を放送します。

09年秋から放送されるスペシャルドラマ『坂の上の雲』の関連番組や，遍路道1300キロを歩く『街道てくてく旅～四国八十八か所を行く』（衛星第2）をはじめ，「阿波おどり」や「よさこい祭り」など四国各地の文化や伝統を扱った番組を全国に発信します。

7．地上デジタル放送の普及促進

四国の地上デジタル放送の受信エリアは，08年度中に90%台に拡大します。高画質・高音質などデジタルの特性を生かした魅力的な番組を制作するとともに，データ放送などデジタル放送ならではのサービスの充実を図り，その理解促進と普及に努めます。また，携帯電話のワンセグやインターネットなどのデジタルツールを活用して，若年層を含む幅広い人たちがNHKに接触する機会を増やします。

8．視聴者との結び付きの強化

NHKは地域の皆さんとのふれあいを大切にし，多様な回路を通じて寄せられる視聴者の意見をしっかりと受け止め，放送サービスに反映させます。テレビ放送開始50年になる高知放送局，開局75年を迎える徳島放送局，夏に『坂の上の雲』の地元での撮影を予定している松山放送局，瀬戸大橋開通20年を迎える高松放送局では，それぞれ地域に合った局独自の放送やイベントで地域の人たちとのふれあいを強めます。

九　州

≪基本方針≫

08年度，九州・沖縄の各放送局は，地域放送のいっそうの充実を図り，“公共放送NHKだからできる”，質の高い放送を通して視聴者・地域のみなさまの期待に応え，これまで以上に親しまれ，信頼される放送局をめざします。

ここ数年推し進めている地域の実情にあった柔軟な編成をさらに強化し，地域放送の充実を図ります。特に総合テレビ金曜夜間の時間帯を九州・沖縄に向けた地域放送番組の時間帯と位置づけ，多彩な番組を放送することで，視聴者・地域のみなさまのさまざまな要望に応えていきます。また，ネットワークを生かして，九州・沖縄に共通するテーマや，各放送局が重点的に取り組んで制作する番組を九州・沖縄に向けて放送するほか，積極的に全国に向けて発信していきます。

昨年は，度重なる暴力団抗争や銃犯罪，食品表示偽装，環境問題など私たちの暮らしの安全を揺るがす事件・事象が後を絶ちませんでした。加えて近年，穀物や石油などの高騰を背景とした物価高が市民生活を圧迫しはじめているほか，医療・福祉などさまざまな格差問題，薬害や年金問題などが暮らしへの不安を広げています。また，

九州・沖縄では毎年のように台風や集中豪雨などの自然災害により，甚大な被害を受けています。こうした状況下，各放送局は“いのち”と“暮らし”を守る公共放送として，正確で頼りになる報道，そして有事には迅速で的確な災害報道・緊急報道に総力をあげて取り組みます。

また，各種選挙においては，万全の態勢で臨み，視聴者・地域のみなさまがNHKに寄せる信頼に応えます。

昨年末現在，九州・沖縄地方での地上デジタル放送の視聴可能世帯は87%になり，本格的なデジタル時代を迎えています。2011年７月のアナログ放送終了に向けて，地上デジタル放送についての理解促進とさらなる普及を放送を通じて推進し，公共放送として地域の情報格差の是正に努めます。また，こうしたデジタル化の流れに合わせ，各放送局でもインターネットや携帯端末向けのサービスを強化していきます。

九州・沖縄の各放送局は，それぞれの地域の伝統・歴史・文化を大切にし，地域ならではの番組を制作することにより，地域との結びつきをいっそう強め，視聴者・地域のみなさまの期待と要望に応えることができる放送サービスを展開していきます。

≪重点事項≫

１．地域放送のいっそうの充実・強化

平日夕方のニュース情報番組をはじめ地域向け番組を充実・強化し，それぞれの地域の特性や要望に応じて多様な放送サービスを推進します。特に，視聴好適時間帯である金曜夜間を九州・沖縄に向けた地域放送番組の時間帯としていっそう強化し，多彩な番組を毎週編成します。

夜８時台は『九州沖縄スペシャル』の時間帯とし，バラエティー豊かな内容でお届けします。鉄道で九州各地を巡りながら地域の魅力を再発見したり，地域で懸命に生きる人たちの姿を描くほか，九州・沖縄で活動する若手アーティストたちを発掘・応援するなど，新しいシリーズ番組で取り組んでいきます。また，社会的なテーマから暮らし・歴史・自然など地域をじっくりと見つめる番組や大型討論番組，地域ゆかりの著名人とともにふるさとを見つめ直す番組を引き続き放送します。

夜７時台は，身近で重要な問題をわかりやすく，タイムリーに伝えるスタジオ報道番組『九州沖縄インサイド』を継続します。

２．暮らしの安全・安心を守る報道

九州・沖縄地域では毎年のように集中豪雨や台風による災害がおきるほか，暴力団抗争や銃犯罪など市民生活を脅かすさまざまな事件や大規模な事故，“食の安全”など，暮らしと密接に関わる問題が相次いでいます。九州・沖縄の各放送局では，９局のネットワークと機動力を生かして，視聴者・地域のみなさまの暮らしの安全・安心を守るため，迅速で的確な災害報道や，緊急報道に総力をあげて取り組みます。

また，毎日の動きや暮らしに密着し役立つ情報を，平日夕方のニュース情報番組などでわかりやすく，より詳しく伝えていきます。

３．各種選挙への万全の対応

人々の暮らしや地域のあり方に深くかかわる地方自治体の各種選挙に際し，有権者の判断のよりどころとなる，信頼できる確かな情報を提供できるように万全の態勢で臨みます。また，次期衆議院議員総選挙に向けた体制づくりにも万全を期します。

４．地域と向き合う番組制作とそれに基づく全国発信

広がる格差，少子高齢化，医療・福祉，環境，米軍基地問題，地域再生など，九州・沖縄地域が直面しているさまざまな課題に正面から向き合い，地域向けのニュースや番組で取り上げ，その解決策を探ります。さらに，地域放送で取り上げた課題や素材については，全国ニュースや『クローズアップ現代』，『NHKスペシャル』など全国に向けて積極的に発信し，地域の放送局としての役割を果たします。

また，被爆地長崎や沖縄をはじめ，今も戦争の深い傷が残る九州・沖縄において，戦争の記憶を風化させないよう，平和について考える番組も継続して制作し，平和のメッセージを発信していきます。

さらに，これまで制作してきて好評をいただいた地域ドラマや，いまや一大イベントになった『熱血！オヤジバトル』など，あらためて地域を見つめ，ふるさとの魅力を再発見する番組を通して，地域の活性化に資する取り組みを行います。

あわせて，今年鹿児島を大いに盛り上げる大河ドラマ『篤姫』に関連した地元の動きや，郷土が持つ魅力を全国に向けて紹介していきます。

５．デジタルサービスの普及と拡充

地上デジタル放送が視聴可能な世帯は順調に拡大していますが，2011年７月のアナログ放送終了に向けて，さらなる普及と理解促進に努めます。高画質・高音質で臨場感のあるハイビジョンの特性を生かした番組制作に積極的に取り組むとともに，暮らしに役立つデータ放送など，地上デジタル放送の魅力を伝えます。

また，４月には九州・沖縄の各地域向けのワンセグデータ放送がスタートします。これにあわせて地域にとって身近で役に立つ新たなコンテンツを提供していくとともに，インターネットなどデジタルメディアでのサービスを強化し，これまでNHKへの接触が少なかった若い世代に向けて多角的なアプローチを行い，NHKに親しんでもらえる機会を増やすよう努めます。

６．公共放送キャンペーンへの取り組み

福岡からの情報発信がきっかけとなり，厳罰化への社会的な流れを生み出した「追放！飲酒運転」キャンペーンに引き続き取り組んでいきます。また，健常者も障害がある人もともに生きる社会をめざす「NHKハート・プロジェクト」や，食料，防災などの公共放送キャンペーンについても各放送局で積極的に取り組み，安全で暮らしやすい社会の実現に貢献します。

また，今年７月には「北海道洞爺湖サミット」があり，地球環境が大きなテーマとして取り上げられます。NHKでは環境・地球温暖化問題について国内，海外で取材を続け，さまざまな番組で紹介していきます。九州・沖

縄の各放送局も地域に身近な視点で環境問題に取り組み，地域に向けた番組で紹介するほか，全国に向けても発信していきます。

７．オリンピック北京大会とアジア情報の発信

20年ぶりにアジアで開催されるオリンピック北京大会と北京2008パラリンピック大会。各放送局では，地元出身選手の情報を紹介するなど，大会に向けた地域の期待感をニュースなどで伝えていきます。

また，これらの大会を契機に，九州・沖縄でも中国をはじめアジアへの関心が高まっています。地理・歴史・文化の側面からアジアに深く関わってきた九州・沖縄の放送局として，引き続きアジアに関する情報を地域や全国に向けて積極的に発信していきます。

８．地域の文化・芸能・スポーツの振興

九州・沖縄の各地には，長い歴史と伝統の中で育まれてきた個性豊かな文化があります。それらを継承しようとする人々の努力や，新しい芸能・文化を創造していこうとする人々の動きを積極的に取り上げ，地域文化・芸能の振興，発展に寄与します。

また，スポーツが盛んな九州・沖縄において，関心の高いプロ野球やJリーグをはじめ，高校野球，駅伝など各種スポーツについても広く伝え，スポーツの振興に貢献します。今年開催される“チャレンジ！おおいた国体”，“チャレンジ！おおいた大会”（全国障害者スポーツ大会）では，競技中継とともに開催への取り組みについても，地域や全国に向けて発信します。

９．地域に役立ち，地域を応援するラジオ放送の充実

ラジオは身近な生活情報波として，暮らしに役立つ情報をさらにきめ細かく伝えます。また，災害時には最も有効なメディアとなるため，平時から中継やリポートで伝える番組に取り組んだり，防災についての番組を地元民放局と共同で制作・放送するなどの連携をさらに進めていきます。

またFM放送では，テレビと連動しながら，九州・沖縄の若手ミュージシャンの歌や演奏を発掘・紹介する若い世代に向けた番組を始めます。